

平成25年度 第1回  
鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 新指定重要文化財答申 …………… 1～8
3. 議 題
  - (1) 平成24年度事業報告 …………… 9～16
  - (2) 平成25年度事業計画 …………… 17
4. その他

日 時 平成25年5月21日(火)  
午後2時～

場 所 鳥栖市役所南別館2階会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

(案)

平成25年5月21日

鳥栖市教育委員会 様

鳥栖市文化財保護審議会

会長 高尾 平良

鳥栖市文化財指定について (答申)

平成25年3月27日付鳥教生第5330号で諮問を受けました標記の件について、文化財保護審議会にて慎重に審議を進めてまいりました結果、下記のとおり鳥栖市重要文化財への指定が適当と認めましたので答申します。

記

1. 名 称 対馬宗家田代領関係資料
2. 所在地 鳥栖市宿町 (鳥栖市教育委員会)
3. 種 別 重要文化財 (歴史資料)
4. 形状等 別紙のとおり



鳥教生第5330号

平成25年3月27日

鳥栖市文化財保護審議会会長 様

鳥栖市教育委員会



対馬宗家田代領関係資料の鳥栖市文化財指定について（諮問）

このことについて、鳥栖市文化財保護条例第4条第3号の規定により諮問いたしますので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

記

1. 名称 対馬宗家田代領関係資料
2. 所在地 鳥栖市宿町（鳥栖市教育委員会）
3. 種別 重要文化財（歴史資料）
4. 形状等 別紙資料のとおり



## 鳥栖市重要文化財概要調書

1. 名 称 対馬宗家田代領関係資料
2. 所 在 地 鳥栖市宿町 1118 番地 (鳥栖市教育委員会)
3. 種 別 重要文化財 (歴史資料)
4. 員 数 近世文書簿冊 146 点、一紙 5 点、絵図 80 点、  
近代文書簿冊 61 点、落戸付木箱 1 点
5. 所 有 者 津田弥
6. 公開の時期 未定
7. 時 代 江戸時代中期 (享保元年頃) ~ 明治期 (明治 43 年)
8. 概 要

資料は、市内田代新町の津田家に保管されていたもので、近世の田代代官所関係文書 151 点と絵図 80 点、および近代の廣及舎関係文書 61 点である。

代官所文書は、代官所の業務日記ともいふべき「毎日記」を抜粋、編纂した「基養政鑑」(7 点、竖帳、正徳 2 年~天明 8 年、巻 1 欠)と「考鑑」(15 点)、「部類別考鑑」(28 点)を中心に、江戸時代中期から幕末にかけての領内統制の様子を知ることができる資料である。これらは、代官所(考鑑方)で編纂、保管されていたものである。保管は木箱に収納して行われていたものと思われ、「基養政鑑」を収納した落戸の木箱は、唯一残存するものである。なお、「基養政鑑」の巻 1 は近代以降に借用されたまま紛失している。また、「毎日記」は、安政 2 年正月、2 月分を所収した 1 点が現存するのみで、他は消失している。

このほか、佐賀鍋島領や久留米有馬領との領地境に関する文書 17 点、豊前国宇佐郡、筑前国怡土郡、肥前国松浦郡など明治 3 年に新しく厳原藩の管轄となった村々の引継ぎに関する文書 28 冊、領政に関する文書 7 冊と誘民局(明治 3 年に藩主宗家より田代領の殖産興業を目的に設立)に関する文書 3 点があり、幕末から明治初期の領内統治について知ることができる。

絵図は、田代領関係 48 点、濱崎領関係 28 点、他領関係 4 点である。田代領関係のうち福岡領と久留米領との境界を示した領地境絵図が 21 点と多数を占める。このうち、福岡領、久留米領との領地境絵図や田代領の正保確認絵図は、幕府による元禄絵図の作成に関わるものである。その他にも大川(筑後川)の荒籠絵図や領内絵図としての主法方製産場指図、万本山絵図がある。さらに、安政 3 年の大砲鑄造に関しては、大砲の見取図 6 点とともに本藩家老の口上覚も残っており、その具体的な経緯や交渉を知ることができる。なお、これらはいずれも本藩に送られた絵図の控と考えられる。

廣及舎関係文書は、廣及舎(旧田代領の宗家の財産を管理・運用を目的に設立)の運営に係る受払帳(33 点、明治 7 年~42 年度<明治 20、36 年度欠>)と発遣書状控綴

り（17点、明治26～44年度〈明治40、41年度欠〉）、受取書状綴り（10点、明治23～34年）で、東京の宗家と旧所領の田代領との関係を知ることができる。

## 9. 諮問の理由

近世の代官所関係資料については、対馬宗家が江戸時代に田代代官所を通して行なった田代領の統治を知ることができる。特に「基養政鑑」「考鑑」「部類別考鑑」は、代官所の日々の業務を記した「毎日記」を編纂したもので、代官所による領地支配と当時の人々の生活を連続して知ることができる点で貴重である。

また、近代の廣及舎関係資料については、東京在住の大名華族がその旧領地の財産管理組織と連絡を取りながら財産の運用を図り、資金を得ていたことを知ることができる資料として重要である。

## 10. その他

資料は、津田家で作成し伝来したものではなく、対馬宗家の田代領を統括する代官所で作成またはその用務によって作成され、それが津田家に保管されていたものである。また、江戸時代に宗家領地の旧田代領は、近代においても宗家との関係が保たれていた。それらの歴史的な背景を示すため、指定名称を「対馬宗家田代領関係資料」とした。

津田家は、廣及舎の社員として運営の実務にあたっていたため、代官所文書および廣及舎文書の一部が津田家に所蔵されていたと考えられる。平成14年、これを津田弥氏より市教育委員会に寄託を受けた。

なお、近世以降の田代領と代官所については、以下のとおりである。

基肄郡と養父半郡は、天正15年（1587）の国割りで小早川隆景領となっていたが、慶長4年（1599）に対馬宗家領となった、その領域は、現在の鳥栖市東半部と基山町域に当たり、これを支配する代官所が田代上町にあったため、田代領とも呼称された。田代領は、慶長4年から寛永12年まで宗家家老の柳川氏によって支配されていたが、寛永12年以降は直代官による支配となった。

さらに、文化8年（1811）、朝鮮通信使の易地行聘の恩賞として得た肥前国松浦郡と筑前国怡土郡が代官所の統治領域に加わった。松浦・怡土両郡約1万6千石は、「濱崎領」「両郡」などと呼称された。

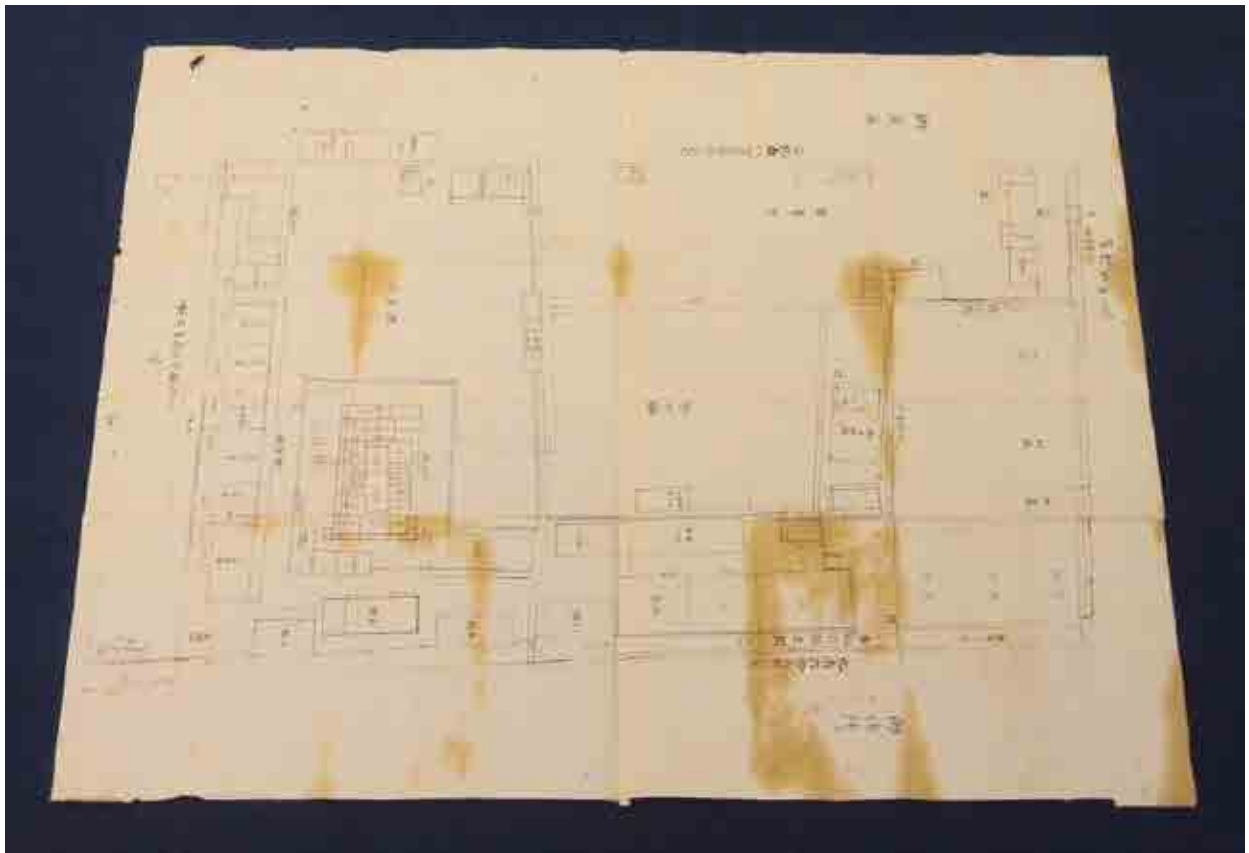
版籍奉還が行われると、明治2年には朝鮮通信使の易地行聘の代償として旧幕府より得ていた現米3万石と下野国の2郡に替えて、豊前国宇佐郡と豊後国国東郡、直入郡、玖珠郡のうち3万9200石余が、翌年には旧幕領であった松浦郡38ヶ村、怡土郡6ヶ村が田代代官所の管轄となり、明治4年の廃藩置県まで続いた。



代官所関係文書



廣及舎関係文書



絵図類

# 鳥栖市内の指定文化財

(平成25年6月現在)

	種 別	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
国指定	史跡	田代太田古墳	田代本町字太田1370	大正15年11月4日
		安永田遺跡	柚比町字安永田454他	昭和57年12月18日
		勝尾城筑紫氏遺跡	牛原町・河内町・山浦町	平成18年1月26日
	重要文化財 (美術工芸品・絵画)	絹本著色見心来復像 ・絹本墨画淡彩以亨得謙像	河内町2118 (萬歳寺) ※県立博物館寄託	昭和62年6月6日
	重要文化財 (考古資料)	安永田遺跡出土鎔范一括 柚比本村遺跡墳墓出土品一括 (赤漆玉鈿装鞆銅劍等9口)	佐賀市城内1-15-23 (県立博物館)	平成5年1月20日 平成8年6月27日
天然記念物 (動物・生息地)	カササギ生息地	市内一円	大正12年3月7日	
県指定	史跡	剣塚	田代本町字柿添1256他	昭和50年2月24日
		庚申堂塚	神辺町字庚申堂247他	昭和50年2月24日
		赤坂古墳	永吉町字赤坂805	昭和62年3月16日
	重要文化財 (美術工芸品・彫刻)	木造神像 2 軀	幸津町1245番地 (幸津天満神社) ※県立博物館寄託	平成23年3月25日
	重要文化財 (美術工芸品・工芸)	黒麻地二十五条袈裟	河内町2118 (萬歳寺) ※県立博物館寄託	平成4年5月27日
	重要文化財 (考古資料)	本行遺跡出土青銅器及び鋳型	宿町1118 (鳥栖市教育委員会)	平成9年5月9日
		柚比遺跡群出土青銅器・青銅器 鋳	佐賀市城内1-1-5 (佐賀県教育委員会)	平成16年3月8日
		藤木遺跡出土四葉座連弧文鏡	宿町1118 (鳥栖市教育委員会)	平成20年3月14日
		平原遺跡出土並木式土器 3点	佐賀市城内1-1-59 (佐賀県教育委員会)	平成20年3月14日
	重要無形民俗文化財	四阿屋神社の御田舞	蔵上町548 (蔵上老松神社)	昭和34年3月20日
市指定	重要文化財 (建造物)	西法寺の四脚門	蔵上町440番地 (西法寺)	昭和48年3月7日
	重要文化財 (石造建造物)	田代宿の追分石 (2 基)	田代昌町571・田代外町1096	昭和49年5月13日
		村田八幡宮の肥前鳥居	村田町749 (村田八幡神社)	昭和53年4月14日
		蔵上の六地藏	蔵上町433	昭和53年4月14日
		立石八幡宮五重石塔	立石町北小路1940 (立石八幡神社)	平成5年10月8日
		野副板碑群	立石町野副628	平成5年10月8日
		大楠の六地藏 (2 基一対)	原古賀町字大楠	平成11年9月14日
	重要文化財 (美術工芸品・彫刻)	幸津天満宮薬師如来像	幸津町1245 (幸津八幡神社)	昭和53年4月14日
		轟木日子神社の王面	轟木町1501-10	平成11年9月14日
		誕生仏	河内町2118 (萬歳寺) ※誕生仏は県立博物館寄託	平成15年6月9日
		宝冠釈迦如来坐像		
		傳大土像		
		地藏菩薩坐像	牛原町 (四阿屋神社観音堂)	平成23年5月31日
	千手観音像			
	重要文化財 (考古資料)	ヒャーガンサン古墳石室	弥生が丘七丁目5番地 (梅坂公園)	平成16年4月19日
	重要文化財 (歴史資料)	田代代官所指図 (2 図)	姫方町266	平成11年9月14日
		268号機関車	本鳥栖町 (駅東広場)	平成17年6月13日
		牛原香椎宮縁起絵 (3 幅)	牛原町 (牛原町公民館)	平成23年5月31日
		対馬宗家田代領関係資料	宿町 (教育委員会)	平成25年6月指定予定
	重要無形民俗文化財	村田浮立	村田町・江島町 (村田八幡神社～石王社)	昭和53年4月14日
藤木の獅子舞		藤木町1161 (藤木宝満神社)	昭和61年8月13日	
曾根崎の獅子舞		曾根崎町1320 (曾根崎老松神社)	昭和62年6月13日	
宿の鉦浮立		宿町1266 (宿船底神社)	平成9年3月3日	
天然記念物	西清寺のいちよう	田代上町242 (西清寺)	昭和49年5月13日	

国指定 7 件、県指定 10 件、市指定 24 件 合計 41 件



# 1. 平成24年度事業報告

## (1)調査

- ① 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為88件について事前審査を行い、うち66件の確認調査、7件の工事立会を実施し、開発と文化財保護の調整に努めた。〈12～16ページ〉
- ② 平成23年度の文化財事業と平成元～3年度に実施した埋蔵文化財発掘調査を報告した。

## (2)保護・管理

- ① 指定文化財(国2件、県2件、市他14件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
- ② 田代太田古墳の樹木と竹の伐採を行い、遺跡の保存、管理を行った。〈写真A〉
- ③ 国指定天然記念物のカササギについては、営巣期間中の5月に1件の保護を行った。
- ④ 文化財防災啓発の一環として、1月29日に轟木町日子神社境内で消防訓練を行った。〈写真B〉
- ⑤ 緊急雇用創出基金をうけて、剣塚古墳・安永田史跡公園・庚申堂塚古墳など史跡の下草刈りを行なうとともに説明板の設置・修繕を行った。
- ⑥ 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳で、熊本県立装飾古墳館の協力により平成22年12月から継続して温湿度計により温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った。〈写真C〉

## (3)普及・啓発

- ① 市重要文化財の268号機関車の公開を、鉄道OB会鳥栖支部の協力を得て、5月12日、10月28日、11月24日に行い、合計833人の見学者があった。〈写真D〉
- ② 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳の一般公開を11月11日に行ない、延べ200人の見学者があった。ヒャーガンサン古墳には、これ以外で年間約350名の見学があった。〈写真E〉
- ③ 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座『鳥栖の集落と交通』を全8回開講し、合計374人の参加があった。〈写真F〉
- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。
- ⑤ 市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書解読講座を開講し、延べ590人の参加があった。

#### (4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画を平成25年2月27日に策定した。
- ② 緊急雇用創出基金により「史跡勝尾城筑紫氏遺跡観光資源整備活用事業」を行い、観光資源としての史跡整備の一環として、遺跡内の樹木伐採・登山道補修、仮設階段、誘導標柱の設置および遺跡内の踏査を行った。〈写真G〉
- ③ 遺跡見学会を5月27日と11月25日に行い、237名の参加があった。〈写真H〉

#### (5)会議

- ① 文化財保護審議会は、第1回を7月26日に開催し、平成23年度事業報告と平成24年度事業計画並びに経過についての報告と重要文化財指定候補物件について検討した。第2回は2月18日に開催し、重要文化財指定候補物件の検討を行った。
- ② 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会を7月20日に開催し、整備基本計画について了承を得た。また、勝尾城筑紫氏遺跡地元協議会を、第1回を8月24日に開催し、平成23年度事業報告、平成24年度事業計画および整備基本計画について報告し、第2回を3月26日に開催し、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画を報告した。



A. 田代太田古墳樹木伐採後



B. 文化財防災訓練（轟木町日子神社）



C. 装飾古墳石室点検(田代太田古墳)



D. 268号機関車一般公開



E. 装飾古墳一般公開（田代太田古墳）



F. 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座風景



G. 勝尾城主郭の説明板



H. 勝尾城筑紫氏遺跡見学会（本城大手曲輪）

## 平成24年度確認

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地
1	周知外	個人	戸建賃貸住宅	今泉町字六枝2396-1・6
2	本川原遺跡	個人	個人住宅	永吉町字本川748-2の一部
3	藪原遺跡	協同組合	遺跡の有無の確認	神辺町2-1
4	村田三本松遺跡	個人	個人住宅	村田町164-2
5	町屋敷遺跡	個人	遺跡の有無の確認	轟木町147-2
6	柳遺跡	個人	個人住宅	萱方町字隈234-7
7	周知外	会社法人	アパート	田代外町699-2外
8	周知外	個人	宅地造成	宿町字原田940-5外
9	周知外	協同組合	宅地造成	萱方町字浅井133-1
10	本村遺跡	個人	賃貸住宅、個人住宅	山浦町本村2171
11	薄尾遺跡	個人	個人住宅	平田町字平田原1192-3・4
12	太田遺跡	個人	アパート	田代本町字太田1394
13	田代天満宮東方遺跡	個人	宅地造成	田代本町字柿添1218-3・4
14	西浦遺跡	個人	個人住宅	本町一丁目897-5
15	内畑遺跡	個人	個人住宅	元町字内畑1077-2
16	布津原遺跡	個人	遺跡の有無の確認	養父町字布津原34-1・6
17	姫方遺跡	会社法人	建売住宅	姫方町字姫方228-13・15
18	布津原遺跡	会社法人	建売住宅	布津原町74-1
19	平田原遺跡	個人	個人住宅	平田町字東前3106-12
20	村田三本松遺跡	会社法人	建売住宅	村田町字四本松307-18
21	祢宜隈遺跡	会社法人	倉庫、事務所	永吉町字祢宜隈1095-1
22	立石山田遺跡	個人	個人住宅	立石町字吉原1356-2外
23	畑田遺跡	会社法人	宅地造成	田代本町1028
24	四ツ木遺跡	個人	個人住宅	曾根崎町字前1156-1外
25	真木遺跡	会社法人	住宅	真木町字原田1877-2
26	乗目遺跡	個人	個人住宅	山浦町字乗目1409-1外
27	平田原遺跡	個人	個人住宅	平田町字東町3004
28	幸津遺跡	個人	個人住宅	幸津町1326-5外
29	真木遺跡	会社法人	宅地造成	真木町2061-1外
30	四ツ木遺跡	個人	個人住宅	曾根崎町字前村中1316-11
31	今泉遺跡	個人	個人住宅	今泉町字郷町2192-1
32	江島遺跡	個人	宅地造成	江島町2272の一部、2273
33	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町字切ノ口983-1
34	藤木遺跡	個人	遺跡の有無の確認	藤木町字寺ノ下2111-2
35	村田三本松遺跡	会社法人	建売住宅	村田町字四本松307-65
36	本川原遺跡	会社法人	事務所	姫方町字本川原526-1外
37	勝尾城筑紫氏遺跡	鳥栖市	下水道	山浦町、牛原町地内
38	内畑遺跡	個人	個人住宅	秋葉町二丁目字北原1219-5

・ 試掘調査一覧

	工事面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査期日	結果	備考
1	1,379	56	4月18日	無し	
2	386	9	4月24日	無し	
3	2,017	50	4月26～27日	土坑、小穴	工事計画確定に際し届け出を指示
4	450	13	5月16日	無し	
5	333	16	5月16日	無し	
6	295	17	5月18日	無し	
7	1,992	53	5月18日	無し	
8	4,874	210	5月22～24日	無し	
9	2,488	104	5月29日	無し	
10	659	26	6月13日	無し	
11	335	16	6月15日	無し	
12	726	33	6月20日	無し	
13	1,489	87	6月25日	無し	
14	246	12	6月28日	無し	
15	164	10	7月5日	無し	
16	656	27	7月10日	無し	
17	485	28	7月17日	遺構なし、 陶器片	流入による遺物混入のため慎重 工事を指示
18	289	21	7月18日	無し	
19	602	15	7月26日	無し	
20	143	12	7月30日	無し	
21	12,388	457	8月1日～9日・17日	住居跡、溝	協議中
22	365	12	8月20日	無し	
23	1,250	90	8月22日	無し	
24	402	15	8月27日	無し	
25	142	12	8月29日	無し	
26	706	11	8月29日	無し	
27	265	14	9月6日	無し	
28	256	10	9月11日	無し	
29	905	63	9月18,19日	無し	
30	328	15	9月21日	無し	
31	184	10	9月26日	無し	
32	495	36	9月27日	無し	
33	352	19	10月1日	無し	
34	233	15	10月9日	無し	
35	152	12	10月18日	無し	
36	36,973	25	10月22日	無し	
37	3,214	105	10月9～26日、12月4～7日	空堀	工法変更により工事実施
38	360	13	11月12日	無し	

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地
39	内畑遺跡	会社法人	宅地造成	元町字内畑1103-39・38
40	薄尾遺跡	個人	遺跡の有無の確認	平田町字平田原1179外
41	立田石遺跡	個人	個人住宅	幡崎町字立田石1019-7
42	池田遺跡	個人	個人住宅	神辺町字池田1449
43	四ツ木遺跡	個人	宅地造成	曾根崎町1160-3
44	幸津遺跡	個人	宅地造成	幸津町1227-2の一部
45	周知外	個人	アパート	儀徳町字浦田8224-3外
46	池田遺跡	個人	アパート	神辺町字池田1432-2
47	南西川遺跡	個人	個人住宅	幡崎町字葱の隈1056-41
48	安良遺跡	会社法人	連絡通路	村田町、幸津町地内
49	周知外	個人	アパート	村田町字二本松36
50	五本谷遺跡	個人	遺跡の有無の確認	山浦町2419-4
51	池田遺跡	個人	個人住宅	神辺町字池田1459外
52	今泉遺跡	個人	遺跡の有無の確認	今泉町2443-1
53	周知外	会社法人	宅地造成	田代本町字柿添1215-1外
54	勝尾城筑紫氏遺跡	個人	個人住宅	山浦町字新町3215-1の一部
55	町屋敷遺跡	個人	個人住宅	轟木町1362外
56	上分遺跡	個人	個人住宅	下野町字上分2614の一部
57	平田原遺跡	個人	個人住宅	平田町字東前3150-3
58	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町字北浦1104-1
59	姫方遺跡	個人	個人住宅	姫方町字姫方280-1外
60	岡寺古墳	宗教法人	寺院庫裡	田代本町字太田1358
61	四ツ木遺跡	個人	宅地造成	曾根崎町字前1169-1外
62	周知外	個人	倉庫建設	曾根崎町字落合975-1外
63	周知外	会社法人	工場、倉庫	永吉町字中尾708-1外
64	村田三本松遺跡	個人	個人住宅	村田町字四本松307-38
65	古賀遺跡	会社法人	建売住宅	宿町字船底473-5・6
66	周知外	協同組合	宅地造成	儀徳町字一ノ角2755-1外

開発・調査面積合計

	工事面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期日	結果	備考
39	737	60	11月15日	溝、土坑、小 穴	造成は保護層が確保されるため 慎重工事、住宅建築に際しては 新たに届出を指示
40	632	72	11月19日	無し	
41	325	15	11月20日	無し	
42	810	18	11月20日	無し	
43	235	14	11月27日	無し	
44	486	14	11月28日	無し	
45	946	27	11月30日	無し	
46	1,416	23	12月4日	無し	
47	394	7	12月5日	無し	
48	490	32	12月10日、17日	無し	
49	2,114	105	12月11日	無し	
50	286	18	12月12日	無し	
51	627	14	12月18日	無し	
52	329	14	12月19日	無し	
53	6,153	45	12月19日	無し	
54	290	14	12月20日	無し	
55	705	18	1月9日	無し	
56	553	15	1月15日	無し	
57	227	13	1月22日	無し	
58	261	11	1月28日	無し	
59	487	15	1月28日	無し	
60	1,642	14	2月13日	無し	
61	990	117	2月27日	土坑、小穴	盛土による宅地造成のため慎重 工事、住宅建築に際しては新た に届出を指示
62	15,750	170	2月28日	無し	
63	16,940	134	3月6日、8日	無し	
64	139	10	3月12日	無し	
65	360	19	3月12日	無し	
66	3,252	85	3月15日	無し	

	136,554	2,862
--	---------	-------

平成24年度市内遺跡確認調査位置図





## 2. 平成25年度事業計画

### (1)調査

- ① 市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ② 文化資源の検証について手法等の検討を行い、調査を進める。

### (2)保護・管理

- ① 文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に所有者や地元団体に委託あるいは補助金交付を行うとともに、既設文化財説明板を見直し、整備計画を立てて見学者の利便を図る。
- ② 古くから伝えられてきた獅子舞などの民俗芸能や伝統行事・習俗について、道具類の補修・新調に対する補助を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ③ 市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。

### (3)啓発・普及

- ① 文化財の啓発普及では、案内パンフレットの作成や、田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会、文化財成果展等を開催し、広く文化財の周知、理解に努める。
- ② 市民を対象にした「歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は、「鳥栖の集落と交通」をテーマとして全8回の座学と現地見学を行う。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースと中・上級者コースを開講する。
- ③ 歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開講し、史跡ガイド等の育成に努める。

### (4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進める。
- ② 史跡の保全管理と、葛籠城を中心に現況調査を行う。